

衆議院文部科学委員会ニュース

平成 30. 6. 6 第 196 回国会第 17 号

6月6日(水)、第17回の委員会が開かれました。

1 文部科学行政の基本施策に関する件

- ・林文部科学大臣、鈴木国務大臣(東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当)、あかま内閣府副大臣、丹羽文部科学副大臣、宮川文部科学大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

平野博文君(国民)

- ・AI(人工知能)の定義については、研究者の中でも多様な考え方が示されているが、林大臣の見解を伺いたい。
- ・AIの研究開発を行う技術者が将来的に不足すると見込まれる原因について、大学におけるポストが不足していることや、企業におけるキャリアパスが不十分であることが考えられるが、林大臣の見解を伺いたい。
- ・AIの下す判断の間違いにより損害が生じた場合の現行法における責任主体について、政府の見解を伺いたい。

中野洋昌君(公明)

- ・神戸市立中学校における生徒の自殺事案において、同市教育委員会が校長に生徒から聞き取りしたメモを隠ぺいするよう指示した問題について、国としてどのように対応するのか、林大臣の見解を伺いたい。
- ・児童生徒の通学路の安全、特に防犯の側面から見た安全を確保するための見守り体制の強化をすべきであると考えるが、宮川大臣政務官の見解を伺いたい。

上杉謙太郎君(自民)

- ・児童生徒の通学路の交通安全について、通学が始まる入学式の前に交通安全教育を行うべきと考えるが、政府の見解を伺いたい。
- ・新学習指導要領について、教職員だけでなく保護者や地域の方々にも周知していく取組を行うべきと考えるが、文部科学省の見解を伺いたい。

高木啓君(自民)

- ・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における交通輸送計画について、築地市場移転の遅れに伴い環状二号線の整備が不可能となったことに関する国際オリンピック委員会(IOC)との協議状況及び輸送計画変更の進捗状況を伺いたい。
- ・国民の間で2020年オリンピック・パラリンピック競技

大会の東京招致が決定した際の高揚感が失われつつあるのは、準備状況等に不安があるためではないかと考えられるが、鈴木大臣の所感を伺いたい。

山本和嘉子君(立憲)

- ・神戸市立中学校における生徒の自殺事案において、同市教育委員会が校長に生徒から聞き取りしたメモを隠ぺいするよう指示した問題について、いじめ防止対策推進法の趣旨を踏まえ、どのように対応するのか、文部科学省に伺いたい。
- ・獣医学部新設に関する問題を抱える学校法人加計学園が設置している岡山理科大学や、アメリカンフットボール選手による悪質な反則行為である危険タックルに関する問題を抱える日本大学に対し、私学助成の減額を検討しているのか、文部科学省に伺いたい。
- ・独立行政法人日本スポーツ振興センター(JSC)に蓄積される学校管理下の事故事例のデータは、JSCが実施している災害共済給付金制度への申請がされた事例のみを対象としているのか、文部科学省に伺いたい。

日吉雄太君(立憲)

- ・学校法人加計学園の獣医学部設置に係る一連の問題について、校舎建築費が高額であったとの疑惑があることを受け、同法人に対し十分な説明を行うよう求めるべきであると考えているが、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・安倍内閣総理大臣の夫人が、学校法人加計学園の運営するこども園の名誉園長であったことを踏まえ、安倍内閣総理大臣を国家戦略特別区域諮問会議における事業者の認定の判断過程に加えるべきではなかったと考えるが、内閣府の見解を伺いたい。
- ・大学設置・学校法人審議会と国家戦略特別区域諮問会議において、議決・審査に参加できない利害関係者の定義を統一すべきであると考えているが、政府の見解を伺いたい。

吉川元君(社民)

- ・給付型奨学金の対象規模は、文部科学省が推計に基づいて設定したものであり、その規模が適正なものかどうか明らかではないため、実際の給付希望者数を調査するべきだと考えるが、林大臣の見解を伺いたい。
- ・独立行政法人日本学生支援機構は、学校が策定すべき給付型奨学金採用候補者推薦基準の提出に応じない高等学校等に対して、翌年度以降の推薦枠の配分を行わない方針である旨の報道がなされているが、同報道の事実関係を承知しているのか文部科学省に伺いたい。
- ・平成29年12月に閣議決定された「新しい経済政策パッケージ」に基づき、国立大学の授業料減免措置等が拡充されたとしても、現行の給付型奨学金の給付額は維持されるべきだと考えるが、文部科学省の見解を伺いたい。

畑野君枝君（共産）

- ・私立大学等経常費補助金における定員未充足を理由とした特別補助の減額について、本年3月の交付段階まで大学側に十分な説明を行わず、平成29年度分から適用した文部科学省の対応は不適切であると考え、林大臣の見解を伺いたい。
- ・定員未充足を理由とした私学助成費の減額は、学費の値上げにつながり、結果として入学者数が更に減少するなど大学経営の悪循環を生むだけであり、むしろ私学助成の充実が必要であると考え、林大臣の見解を伺いたい。
- ・放送大学における有期雇用職員の雇止め事案について、林大臣の見解を伺いたい。

城井崇君（国民）

- ・平成32年度から導入される「大学入学共通テスト」の「英語」において民間の資格・検定試験と従前のマークシート方式の共通テストが併存し、受験生の学習上の負担が増大するおそれがあるが、林大臣の見解を伺いたい。
- ・民間の資格・検定試験の活用に伴い、受験料の負担が新たに生じるが、負担軽減について国としてどこまで支援するのか、林大臣に伺いたい。
- ・新テスト導入に伴い、調査書も民間企業の仕組みを使って記録することになると聞かすが、なぜ1社が独占しているのか、また、浪人生にも対応すべきと考えるが、林大臣の見解を伺いたい。

金子恵美君（無会）

- ・障害者の文化芸術へのアクセスや文化活動の支援等について、これまで国はどのように進めてきたのか、また、今後どのように進めていくのか林大臣に伺いたい。
- ・「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」の

成立後にどのように障害者の文化芸術活動を進めていくのか、また、同法に基づく基本計画をどのように定めていくのか、林大臣に伺いたい。

- ・地方公共団体の予算削減や指定管理者制度導入により公立図書館の運営が厳しくなっているが、国として公立図書館をどのように支えていくのか、また、図書館関係団体から要望されている図書館法第20条に基づく補助金の措置等についてどうするのか、文部科学省の見解を伺いたい。

櫻井周君（立憲）

- ・薬学教育に係る大学教育の質の評価について、薬剤師国家試験の合格率等を公表させ、指標の一つとすべきと考えるが、林大臣の見解を伺いたい。
- ・学校教育における集団指導の一つとしての「連帯責任」について、当事者以外の生徒も不利益を被るため、いじめへ発展する懸念もあり、文部科学省として指導の実態把握やガイドラインの策定を行うべきと考えるが、見解を伺いたい。
- ・学びの個別化に関し、「Society 5.0に向けた人材育成～社会が変わる、学びが変わる～」の報告内容をどのように実現していくのか、林大臣の見解を伺いたい。

串田誠一君（維新）

- ・2020年東京パラリンピック競技大会について、テレビ放映・インターネット配信の増加や開閉会式の2020年東京オリンピック競技大会との連携を行うことで盛り上げるべきと考えるが、内閣官房の見解を伺いたい。
- ・特別支援学校等における障害のある児童生徒によるスポーツ活動について、運動のための器具・施設の整備状況及び指導者の資質の確保策について、スポーツ庁に伺いたい。
- ・2020年東京パラリンピック競技大会に向けた鈴木大臣の決意を伺いたい。